

武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信

Vol. 14

令和6年1月1日

発行／編集 武蔵野市健康福祉部地域支援課

平成27年度に介護保険法の地域支援事業として制度化された「在宅医療・介護連携推進事業」での8事業を踏まえつつ、「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」といった医療と介護の両方が必要となる生活の場面を想定し、さらに取組みをすすめていきます。

在宅医療・介護連携推進事業での取組みについて医療・介護関係者の皆様に共有することを目的として武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会通信を作成しました。

令和5年度 武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会及び部会

ICT連携部会【医療・介護関係者の情報共有の支援】

○令和5年11月15日（水）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

武蔵野市ではICTを活用し、MCS（メディカルケアステーション）による連携を行ってきました。登録者数も増加していることから、あらためてICT連携のルール、運用ポリシー等の見直しを行うこととなりました。同時に、登録者の登録内容についても見直すこととしました。これまで武蔵野市ではMCS利用促進のため登録票等の提出はしておりませんでした。登録者の登録内容が現在の状況と異なっているものも見受けられたため、登録内容を改めて見直し正しく登録するための確認を行います。

現在、MCSに登録されている方は、令和6年1月末までに「登録票」を武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室に提出をお願いします。「登録票」については、MCS掲示板、武蔵野市医師会在宅医療介護連携支援室のホームページに掲載しています。 #日常の療養支援 #急変時の対応

多職種連携推進・研修部会連携部会【医療・介護関係者の情報共有の支援】

○令和5年12月6日（水）午後7時～午後8時 オンラインにて開催されました。

多職種連携推進・研修部会で行う研修会のテーマを「災害時における医療と介護の連携」としました。研修会を開催するにあたり、まずはそれぞれの職種、職能団体でのBCPや発災時の動き等を部会員で確認をしました。部会でも「発災後に他の職種がどのように動くことになっているのかを知ること自分たちがどう動かなくてはいけないうか、課題がある事に気づいた」等の意見が出ました。

また今年度は「研修はオンラインではなく、ぜひ集合して対面で行えると良い」との意見もあり、集合形式で開催することとなりました。日時や場所については、後日あらためて部会員を通じて周知いたします。 #日常の療養支援 #急変時の対応

認知症連携部会

【切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進】【医療・介護関係者の情報の共有の支援】

○令和5年12月19日（火）午後7時～午後8時 対面にて開催されました。

認知症のある方のACPをテーマに話し合いを行いました。それぞれの経験からこれまでにあった心残りのある事例はどのような事例だったかということから話し合いを深めました。

また武蔵野赤十字病院で取り組んでいる「わたしのこころづもり」シートとその取組みについての紹介がありました。 #看取り #日常の療養支援



武蔵野市医師会 在宅医療介護連携支援室 【在宅医療・介護連携に関する相談支援】

- 医療・介護関係者からの相談支援窓口として武蔵野市医師会内に設置しています。
- 在宅医療介護連携支援室は支援者のための支援を行う窓口として、患者から直接相談を受けるのではなく、医療機関や介護サービス事業者など関係者からの相談を受け、支援をしています。
- 最近の相談対応事例をご紹介します。

【こんな相談がありました】 #日常の療養支援 #看取り



担当している利用者の方のご家族からの相談です。
 それまで元気だったのですが、健康診断で胃がんがわかりました。病院では手術と言われましたが、手術はしないことを選択しました。すると病院から緩和ケア病院を紹介されてしまい、どうしたらよいかと相談を受けました。今は病状が安定しているけれど、今後のことを考えると医療との連携は不可欠だと考えていますが、どのような点に気を付けて医療と連携していけば良いのでしょうか（ケアマネジャー）

手術をしないことを選択するならば、その病院の機能を考えたうえで緩和ケア病院を紹介したのでしょうか。手術をしない、治療しないという気持ちなのであれば、いったんは緩和ケア病院ともつなぎながら、近くにかかりつけ医をもって、経過観察をしていくのはどうかと提案しました。たとえ今は「手術はしない」と決めたとしても状態の変化によって気持ちが変わることもあるかもしれません。そもそもまだ病気を受け入れられていないのかもしれない。モニタリングをしながら、今はどのような気持ちなのかくりかえし聞き、かかりつけ医と共有していきましょう。もし気持ちが変わったとしてもそこにしっかりと寄り添っていけるような支援チームづくり、その要となるのはケアマネジャーさんではないでしょうか。

ひとこと

住み慣れた地域で暮らし続けるために今から考えてみませんか？普及啓発部会で作ったパンフレットもぜひ活用してください！



細やかな医療・介護の情報を提供しています。ぜひご相談ください。



相談日 月・火・木・金 / 相談時間 9時～17時
 電話番号 0422-39-8780
 E-mail musashi-renkei@iaa.itkeeper.ne.jp
 相談担当 社会福祉士／介護支援専門員 石井いほり
 ICT サポート担当 上村理紗子

【事務局】武蔵野市健康福祉部地域支援課 (在宅医療・介護連携担当) 金丸
 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1941 (直通) FAX 0422-51-9218
 メールアドレス SEC-CHIIKI@city.musashino.lg.jp